

第2回急速充電設備検討会意見
「ヒューマンエラーについて考慮する必要がある」



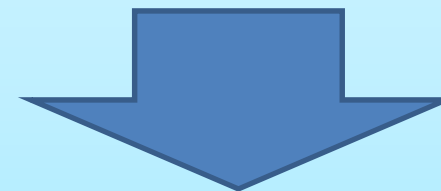
現在のハザード評価表は、ヒューマンエラーを考慮した評価（発生確率、安全対策等）となっているか確認を行う必要がある。

【急速充電設備において想定されるヒューマンエラー】

- ① 車両等の衝突
 - ・ 車両の運転ミスによる急速充電設備への車両の衝突
- ② 水がかかる
 - ・ 洗車、散水等による水損
- ③ 充電コネクタの取扱い
 - ・ 充電コネクタの落下
 - ・ 充電コネクタ、ケーブルの引きずり
- ④ 車両等による踏みつけ
 - ・ 充電コネクタ、ケーブルに対する車両等の踏みつけ
- ⑤ 使用者による誤操作

【検証結果】

- ハザード項目のうち、ヒューマンエラーに該当するものを抽出
- 抽出されたヒューマンエラー項目について、現状のハザード分類、発生確率及び安全対策がヒューマンエラーを考慮に入れたものであるかどうかについて検証。
- 部位毎のハザードに該当しないものについては、考えられるハザードを別途抽出。



ハザード評価及び安全対策については、ヒューマンエラーを考慮に入れて作成されていることを確認。